

予告

第7回大磯チャレンジライブ

無料!
Free

Challenge Live!!!

ちやれんじ!

大磯町青少年指導員だより

Vol.21
2018.Mar

大磯チャレンジLIVE vol.7
3月25日(日) 無料
大磯町生涯学習館2F 大磯町高麗2-14-20

出演者
CINQ
decide
Glasses
good anything
Happy Spring Vacation
scarlet
かつば

協賛企業一覧
蔭田建設 新杵
地域シャワーコム アシスト・クルー
大磯 井上蒲鉾店 しまむらストア大磯店 友月堂 渡辺農園直売所
奥野モーターサイクル 肉のハマダ 花工房 フレンドショップやなぎだ
伊豆箱根交通 地場屋ほっこり お勝手屋 和伊 大野建設 ローソンスリーエフ大磯園府店 ローソンスリーエフ大磯駅前店
三日月ハウンドケーキ ミートハウスささや 東町味の店 よるずや やおひで カフェぶらっと 三引屋 カフェ 暁

主催：大磯町青少年指導員連絡協議会 共催：大磯町教育委員会
問合せ：0463-61-4100(生涯学習課内線 323)

2018年3月25日(日)

開場 12:30 開演 12:50~17:00
大磯町高麗 2-14-20
大磯町生涯学習館 2F

出演者からのメッセージ

昨年は皆様のおかげで、素晴らしいライブを開催できました。ありがとうございました。
今年はさらに盛り上げ、活気溢れるものにできるよう、全力で頑張ります。ご協力の程よろしく申し上げます。



高麗 クラフトキャンプで リンゴの木の枝でバードコール アウトドアクッキングにちやれんじ!!



私たち青少年指導員は、子供たちが明るくのびやかに育つことを願って活動しています。今年度は2年間の集大成として、小学生を対象としたお泊りキャンプにチャレンジ! 第1回目のキャンプは子ども達と一緒に楽しむことができました。
また中高生には恒例となったチャレンジライブを開催します。開催に当たっては多数の協賛をいただきありがとうございました。
大磯町には自然や文化、歴史など多く残っています。これらの資産を活用し、子供たちが様々なふれあいや体験をできるような活動を企画・実施していきたいと思っております。
会長 加藤久昭

☆大磯町青少年指導員☆
加藤久昭 加藤昌子 鈴木恵美子 織戸明
二宮幸男 上野広子 浅野重人 高田麦太
二宮陽児 山田栄子 津野亘 横井太一

発行 大磯町青少年指導員連絡協議会
問い合わせ 大磯町教育委員会教育部生涯学習課
電話 0463-61-4100 (内線323)
メール gakyu2@town.oiso.kanagawa.jp

高麗クラフトキャンプ 8月19.20日(土・日)



夕食

2つの鍋で薪のコンロでグツグツ、甘口と中辛のカレーが完成！普段は包丁を使うことがほとんどないと言っている子どもたちが「やりたい」「やってみよう」と積極的に参加しました。「こうするといよいよ」というアドバイスも素直に聞いて、みんなで分担して誰も怪我することなく、20数人分の大量の材料を全部切りました。

お泊り

大雨警報が出て、テントでのお泊りは中止となり、生涯学習館の1階の部屋で女子みんなで寝ることになりました。始めは残念がっていましたが、みんなで一緒に寝るのも楽しくて、お喋りしたり、トランプをしたり、昔話を聞いたりして遅くまで盛り上がっていました。学校も学年も違ったけれど、一晩一緒に過ごして仲良しになってました。



朝食

早起きをして高麗山に早朝ハイキング。雨上がりのぬかるみの中、息を切らしながら頑張りました。頂上ではラジオ体操&ゲームをして、盛り上がりました。行く前に、袋に入ったパンの材料をモミモミしたパン生地がちょうどいい感じに発酵完了。切って伸ばして、竹の棒にくるくる巻き付けて炭火で焼きました。自分で焼いた焼きたてのパンは格別で「美味しい〜！」「もっと食べた〜い」と大好評でした。ホットドックと牛乳、スイカ、ゼリーも食べてお腹いっぱい



バードコール

自然の中に自由に生きる動物の中で、もしかすると一番うらやましい特技を持つ鳥たち。彼らの声に似た音を出すことで少しかもしれないけど、近づけ、その姿と声を観察することができる『バードコール』を手作りしました。枝を切ったり穴を開けたり、音が出るまで少し努力や工夫が必要だったり。みんな一生懸命に頑張ったおかげで、全員の個性のある鳥の歌声そっくりな道具？おもちゃ？ペンダント？が出来ました！！



成人式 1月8日(祝日)

リニューアルされたプリンスホテルにて今年の新成人267名が大人の仲間入りをしました。懐かしい仲間との再開の中、来賓の皆様、恩師の方々に見守られ、思い出に残る集いになったことと思います。

- ◇実行委員：【委員長】秋元太郎、【副委員長】齊藤瑞穂、秋谷明日生、石井美波、岩淵絵里花、大塚桃奈、小澤華奈、河西宏樹、澁谷優博、真壁沙奈松本涼香、三栖理菜子、山口翔太郎
- ◇プログラムデザイン：柳沢袖月
- ◇案内状デザイン：清水裕貴(敬称略)



7/1 社会環境実態調査

青少年を取り巻く環境を調査しています。毎年7月は、青少年の非行・被害防止全国強調月間により、町内の有害図書の取り扱い・たばこ・酒の販売について店舗や自販機の台数を調査。[調査数] 店舗数：33店舗 自販機：20台 [結果] 有害図書・酒・たばこの販売は、店舗、自販機共に昨年度より減少。お店の方に子ども達の様子を伺ったところ、概ね大磯の子どもたちはいい子が多いとの事でした。

7/9 青少年の健全育成を進める県民大会

テーマ 社会全体で青少年をはぐくむ環境づくり～今、大人ができること～
講師 和田 重宏氏 (NPO 法人子どもと生活文化協会顧問、小田原市教育委員会委員長)

1970年代から現在の子どもの変化について集団での遊びからバーチャルな一人遊びが増えるテストでの選択問題多用により自分で考えることが減るお手伝いの経験が不足し、継続する力がないスマホの普及で人とのつながりが喪失、孤立化

↓
生きるためのエネルギーが 減退、ひきこもりや自殺へと導かれやすくなる
特に食事については、孤食(家族と食べない)・個食(取り分けて食べない)・粉食(柔らかい食べ物)になりがちで体と心が乱れやすくなってきている

- 「生きる力」をつけさせるために、大人としてできることは
- ①睡眠、食事などの生活リズムを整える
 - ②安心して何でも話せる信頼関係を築く
 - ③継続的に働くことができる人に育てる

大人が子どもにストレスを与えていることもあり、そのことに気付き、頼りにされ、サポートが出来る大人でありたいです

11/12 県青少年指導員大会

講演 小宮 信夫氏 (立正大学文学部社会学科教授)

講演は犯罪学の専門家、小宮信夫氏により「青少年育成に望ましい地域をどう築くか」というテーマでありました。犯罪は人通りの多いところで起こる！我々の常識や先入観でなく、犯罪者の視線で考えることが大事。また、子供たちを犯罪者にしないために、メンター(憧れの先輩)として触れ合うことが大事で、青少年指導員こそメンターであるべきではないかという問いかけがあり印象的でした



左手より加藤昌子さん 鈴木恵美子さん

川崎市中原地区の吹奏楽コンサートや、高津地区のバスハイク、ウォークラリーの活動事例が紹介され、表彰式では大磯町から2名表彰されました。

ETC. 町事業のお手伝い

- ・成人式
- ・青少年おもしろ講座
- ・社会を明るくする運動
- ・大磯チャレンジフェスタ
- ・大磯小学生駅伝大会
- ・青少年健全育成連絡会
- その他

